

校長室から平成31年4月9日

「平成」から「令和」へ

人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ

保護者の皆さまへ

14名の新しい教職員を迎え、そして、第2、3学年の生徒が登校し、長町中学校の平成31年度がスタートしました。集会での生徒達のさわやかで、けじめある態度、とてもすばらしいと感じました。元気に学校に戻ってきてくれた彼らと接し、とても嬉しく思います。

新しい年度が始まると、中学生だけではなく、多くの人が気持ちを新たに頑張ろうとします。3月に卒業式を終えた旧3年生も、それぞれの新しいスタートラインに立ちました。4月5日に三桜高校の入学式に参列しました。そして、昨日は、仙台南高校の入学式に出向きました。少し前まで長町中学校で生活していた生徒達が、新しい制服を着て、入学式に臨む姿は、感慨深いものがありました。それぞれが充実した生活を送ってほしいと願わずにはられません。

そして、一つずつ学年が上がった在校生は、ほんの少しの期間、学校から離れていた間に、やはり、心身の成長が見られます。新しいクラスで新しい出会いを大切にしながら、この1年を有意義に生活してほしいと思います。

昨日、着任式と始業式に参加した生徒達は、私語がほとんどなく、しっかりとした態度で先生方のお話を聞き、新しい先生方を拍手で迎え、そして、すばらしい歌声で校歌を披露し、着任した職員を驚かせました。私も昨年度、赴任した時に美しい歌声で迎えられ、とても感動した事がよみがえってきました。このような事がしっかりとできる生徒達には、心豊かに、失敗を恐れず、笑顔で学校生活を送ってほしいと願っています。悩み事や心配事がある時は、自分の一番信頼できる先生方に相談してほしいと思います。

さて、春休み期間中に、新しい元号が発表されました。「大化」(645年)以降、248番目の元号です。30年間親しんだ「平成」という時代に終わりを告げ、5月1日から「令和」となります。人間は日々忙しく生活を営んでいるので、元号が変わってもすぐに大きく何かに変化する事はないのかもしれませんが、しかし、新しい年になったり、新年度が始まったり、今回のように元号が変わったりするときには、やはり、これまでを振り返りながら、気持ちを新たにしようとする事は人間にとって大切な事なのかもしれません。生徒達には、小さい目標でもよいので、少しずつクリアしながら、自分を高めてほしいと思います。

新元号については、「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められているのだそうです。人との関わりが希薄になったり、誰かを集中的にバッシングしたり、殺伐とした事件が多かったりする世の中だからこそ、互いの気持ちを理解しようしたり、互いに励まし合ったり、互いに協力したりしながら、心を寄せ合い、何かを生み出していく事が必要なのかもしれませんが。

私達の長町中学校も、昨日、生徒達が見せてくれたすばらしき態度や美しい歌声が、ずっと続いていくような和やかで、温かい空気に包まれる学校であり続けるために、私達教職員一同、思いやりをもって力を尽くしていきたいと思っています。